

組 番 氏名

太陽小学校では、ろう下を走ってぶつかったり、階段をジャンプしておいたりしてけがをする事故がふえていることが問題になっています。気づいた人が注意しますが、なかなかよくなりません。

そこで、生活安全委員会が、全校児童が安心して安全に過ごせるように『みんなの力で めざせ 事故ゼロ』というスローガンのもと、この問題に取り組むことになりました。

生活安全委員会では、取組を始める前に全校児童からろう下・階段歩行にかかわるアンケートに答えてもらいました。アンケート結果の資料や委員会での話し合いの様子を読んで、問いに答えましょう。



資料1 アンケート結果①

「ろう下や階段での事故が
起こりそうな場所はどこですか」

場所	人数
体育館へつながる ろう下の曲がり角	130
ふつう教室前のろう下	85
中央階段	30
児童げんかん前のろう下	20
その他	35

資料2 アンケート結果②

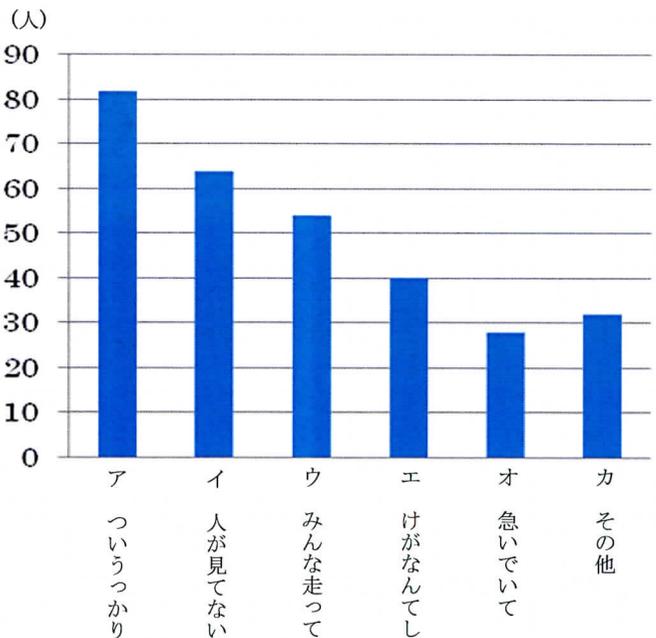
「問題が起こるのはどんなときですか」

- 休み時間になり、体育館やグラウンドに早く行きたいとき。
- 次の授業が特別教室であることをわすれ、休み時間にぎりぎりまで遊んでしまい、授業におくれそうになったとき。
- 友達と休み時間に階段でどのくらいの高さからジャンプできるか勝負してしまうとき。
- 体育館でおにごっこをしていて、ろう下まで飛び出してにげってしまうとき。

資料3 アンケート結果③

「ろう下・階段歩行がよくならない理由は何だと思いますか」

- ア 注意されたことをわすれて、ついっかかり走ってしまうから。(八十二人)
- イ 人が見ていなければ注意されないから。(六十四人)
- ウ みんなが走っているから。(五十四人)
- エ 自分だけがなどしなと思うから。(四十人)
- オ 急いでいるから仕方なく。(二十八人)
- カ その他(三十二人)



生活安全委員会の話し合いでは、ろう下歩行をよくするために、次の三つの案が出されました。

A案Ⅱ昼の放送や全校集会でろう下・階だん歩行についてよびかける。

B案Ⅱ休み時間に生活安全委員がろう下や階だんに立ち、走っている人に注意する。

C案Ⅱろう下や階だんに、「ろう下を歩こう」などのよびかけメッセージを書いたカラーコーンを置く。

その三つの案の中から一つを決めて、取り組むことにしました。

【話し合いの様子】

司会者

みなさん、これからの取組として、三つの案の中で、どれがよいですか。

山川さん

私は、B案に賛成です。委員が休み時間にろう下に立ち、走っている人を見つけたら「ストップ！」とよびかけます。よびかけられた人はゆっくり五つ数えてから歩きだします。そうすれば気持ちを落ち着けて行動できると思うからです。

佐藤さん

ぼくは、B案に反対です。委員が毎日ろう下に立つと、委員の休み時間がなくなって大変だからです。

小林さん

ぼくは、C案のようにカラーコーンにメッセージをはって、それをろう下や階だんに置くことで注意すればよいのではないかと思います。そうすれば毎日立つ必要はなくなります。

山川さん

私は、やはりB案に賛成です。

たしかに、B案には、休み時間に委員だけで立つのは大変だという心配があります。

でも、キャラクターを作ったり、「見守り隊」などの名前をつけたりして、委員だけでなく、希望者を集めながら全校のみんなと楽しめるように工夫すればいいと思います。

石田さん

私もB案に賛成です。アンケート結果【ア】からも、問題が起こりやすい休み時間に注意をよびかけるのは大切だと思うからです。それに、多くの人が自分から活動することで、スローガンにもつながります。カラーコーンを置くだけのC案はスローガンに合わないと思います。

小島さん

ぼくもC案について心配なところがあります。アンケート結果【イ】から、だれも見えないと守れない人が六十人以上いることが分かります。直接注意を伝えることが大切だと思います。

司会者

A案についてはどうですか。

佐藤さん

ぼくは、A案に賛成です。アンケート結果【ウ】を生かして、ろう下や階だんの、どの場所がきけんなのか全校のみんなに知らせることも大事だと思うからです。また、全校の前でよびかけることで、みんなが守ろうという気持ちが高まるはずですよ。

石田さん

私は、A案に反対です。放送や集会があったすぐ後は正しく歩行しようとするけれど、しばらくたてばまたわすれてしまうのではないのでしょうか。

佐藤さん

たしかに、A案には、**問題点**という心配があります。**解決策**という解決策が考えられます。そうすると、自分が紹介されるかもしれないと期待して、正しいろう下歩行をするのではないのでしょうか。

小林さん

なるほど、A案もよいですね。それに、全校みんながよくしようという気持ちが高まったら、放送で紹介された人がみんなからみとめられます。それがどんどんふえていけば、おたがいをみとめ合えるようになるので、活動の輪が広がりますよね。

(その後、話し合いは続き、A案とB案の二つに選ばれました。)

問い一 【話し合いの様子】の【ア】【イ】【ウ】に当てはまる資料番号をそれぞれ書きましょう。

(ア)	
(イ)	
(ウ)	

問い二 【話し合いの様子】では、A案とB案の問題点が述べられています。文中から探して、それぞれ書きましょう。

A案の問題点

B案の問題点

問い三 【話し合いの様子】の問題点と解決策に入る組み合わせとして合うものを①～⑤から選び、□に番号を書きましょう。

問題点	解決策
ア ろう下や階段 <small>かひ</small> はきけんが多い	オ 正しい歩行ができている人を毎日放送で紹介 <small>しょうかい</small> して印象 <small>いんしょう</small> に残す
イ 委員の休み時間がなくなって大変だ	カ カラーコーンを置いて委員の仕事を軽くする
ウ 全校集会や一回だけの放送ではすぐにわすれてしまう人が多い	キ 時間にゆとりをもって、落ち着いて行動する
エ 急いでいるから仕方なく走ってしまう	ク ゆっくり五つ数えてもらい、気持ちを落ち着かせる

⑤	④	③	②	①
エ	ウ	ア	イ	ウ
ー	ー	ー	ー	ー
ク	オ	オ	カ	キ

問い四 あなたが生活安全委員会の一員だったら、スローガンのもと、ろう下歩行をよくするために、A案とB案、どちらの案に賛成さんせいしますか。次に示す条件じょうけんを満たして、原稿用紙げんこうしに書きましょう。

条件1 三三九字をこえるまで書くこと。

ただし、四〇〇字以内で書くこと。

※題名や氏名は書かずに一行目から書き始める。

<組み立て表>

始め (1だん落)	私は、A案(またはB案)のくに賛成です。
--------------	----------------------

条件2 「始め・中・終わり」のまとまりを作り、**四だん落**で書くこと。

条件3 「始め」には、**あなたが賛成する案**を書くこと。

条件4 「中」には、次のことを必ず書くこと。

- ① あなたが選んだ案に賛成する理由を一つ書くこと。
- ② 理由には、**あなた自身の体験や、賛成する案を実行したらどうなるかの予想などを加えて、くわしく説明**すること。

※資料や話し合いの様子を参考にして書いてもよい。

- ③ **あなたが賛成する案の、問い二であげた問題点と、それについての解決策、または、あなたの考え**を書くこと。

終わり (4だん落)	中		始め (1だん落)
	(3だん落)	(2だん落)	
このような理由から、A案(またはB案)になると思います。	たしかに、A案(またはB案)にはくという問題点があります。しかし、くだと思います。	理由は、くだからです。(自分の体験や予想を入れて書く。)	

